



平成18年3月期
中間決算説明会資料

平成17年12月6日（火）

株式会社ニレコ

～目次～

平成18年3月期中間決算の概要	P. 4～17
今期業績見通し	P. 18～21
中期計画の進捗状況	P. 22～24
その他	P. 25～29

主な事業と製品類

事業	制御機器類	計測・検査機器類
プロセス事業	プロセス制御装置 耳端位置制御装置（EPC） 自動識別印字装置（マーカー）	渦流式溶鋼レベル計
ウェブ事業	耳端位置制御装置（EPC） 張力制御装置 見当合わせ、切断制御装置 糊付け装置	—
検査機事業	—	印刷検査装置（ビーコン） 無地検査装置（DIPS） 画像処理解析装置（ルーゼックス） 青果物外観検査装置
その他	—	近赤外分析装置（NIRS） 分光測色システム（COMES）

～決算の概要～

- 当初の予想に反し、前年同期並の受注高
- 売上高は前年同期比10.8%の増収
- 営業利益率を前年同期に比べ1.5ポイント改善
- 在庫削減努力により営業キャッシュ・フローを改善するも、当期利益を圧縮

損益計算書の概要

(単位：百万円)

	当中間期 (05/9期)		前中間期 (04/9期)		増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	4,024	100.0%	3,631	100.0%	393	10.8%
売上総利益	1,261	31.3%	1,183	32.6%	77	6.6%
営業利益	153	3.8%	82	2.3%	71	86.7%
経常利益	209	5.2%	121	3.4%	87	71.9%
当期純利益	0	0%	46	1.3%	△46	△99.3%
設備投資額	48	1.2%	34	0.9%	13	38.6%
減価償却費	57	1.4%	59	1.6%	△1	△3.3%

2006年3月中間期 受注及び売上の状況

(単位：百万円)

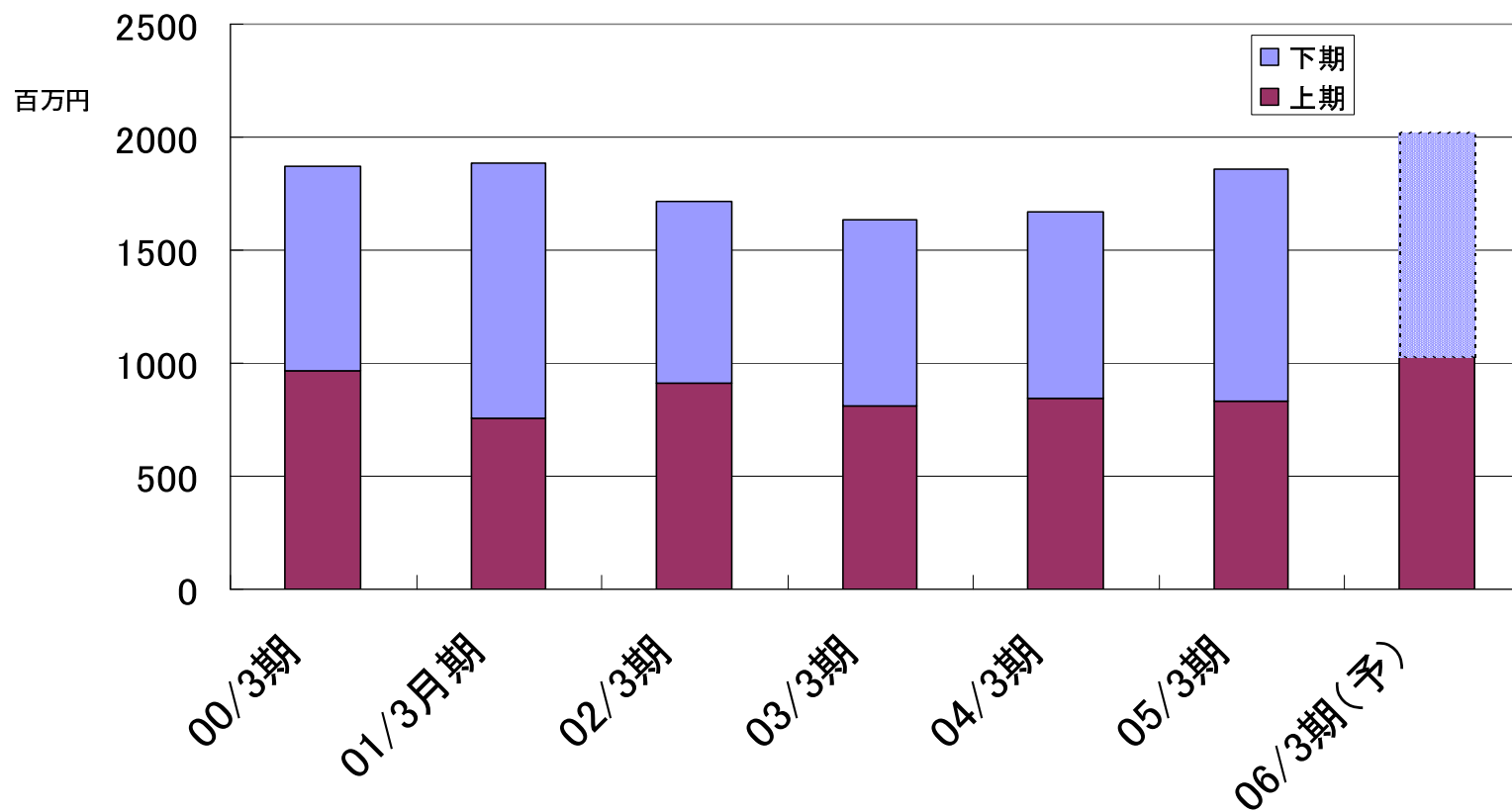
	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	1,124	20.7%	1,029	23.8%	949	18.8%
ウェブ事業	1,766	△17.1%	1,762	△3.4%	530	△25.4%
検査機事業	862	15.0%	849	47.4%	647	12.9%
その他 (近赤外分析など)	85	10.4%	70	1.4%	53	39.5%
合計	3,837	△1.3%	3,710	12.3%	2,180	4.0%

注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

プロセス事業の概況

国内鉄鋼業界は好調な業績を背景に設備のリプレース需要が起こる。このチャンスを捉えてプロセス制御装置や自動識別印字装置が伸びた。

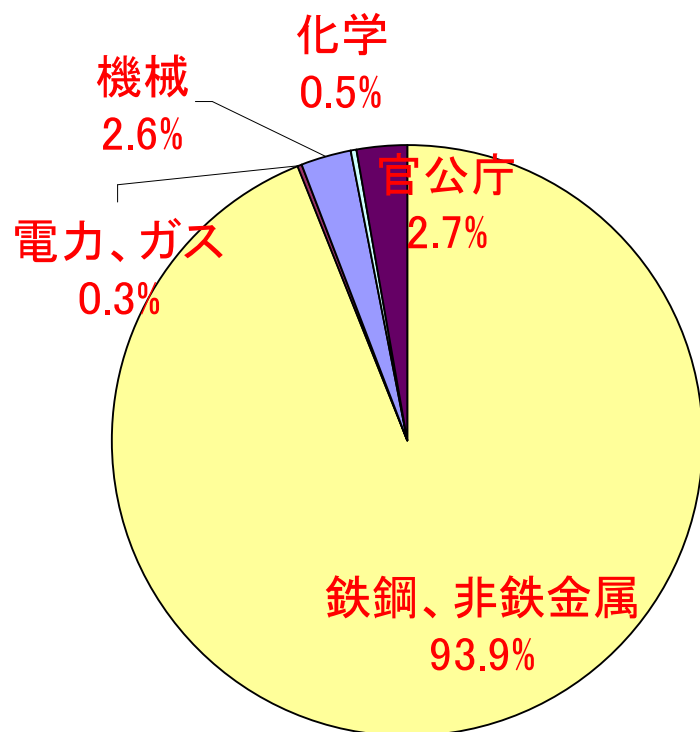
《プロセス事業 部門別売上高推移》



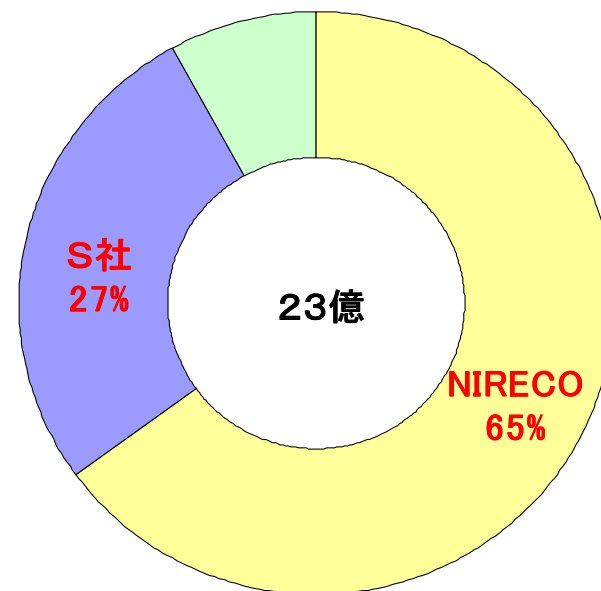
注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

プロセス事業の概況

【ユーザー業界別の売上構成比】



【予想される国内の市場規模と当社のシェア】

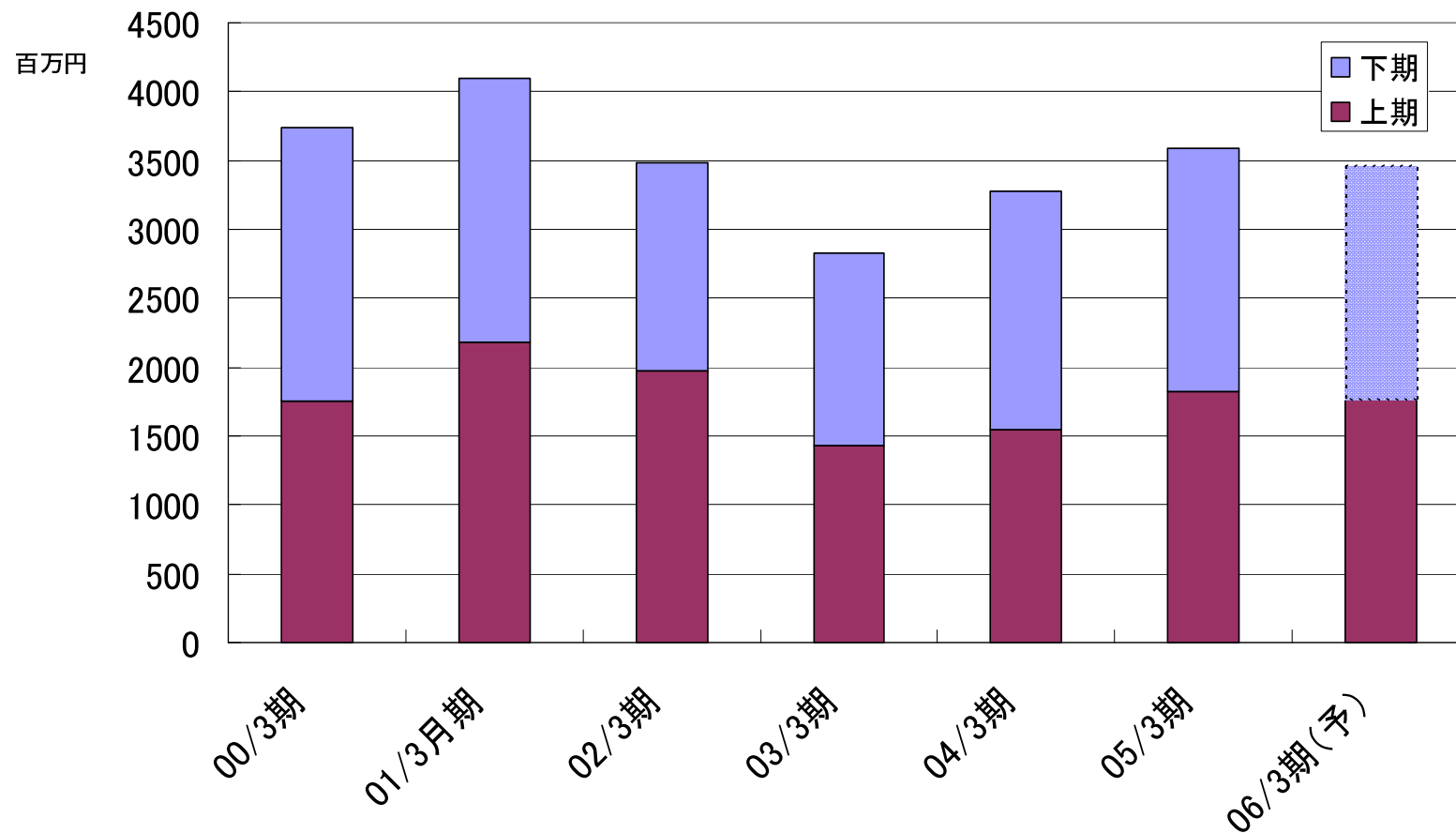


注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

ウェブ事業の概況

電子部品、FPD用高感度フィルム向け制御装置が、当初の予想ほどの落ち込みがなく、好調を維持。

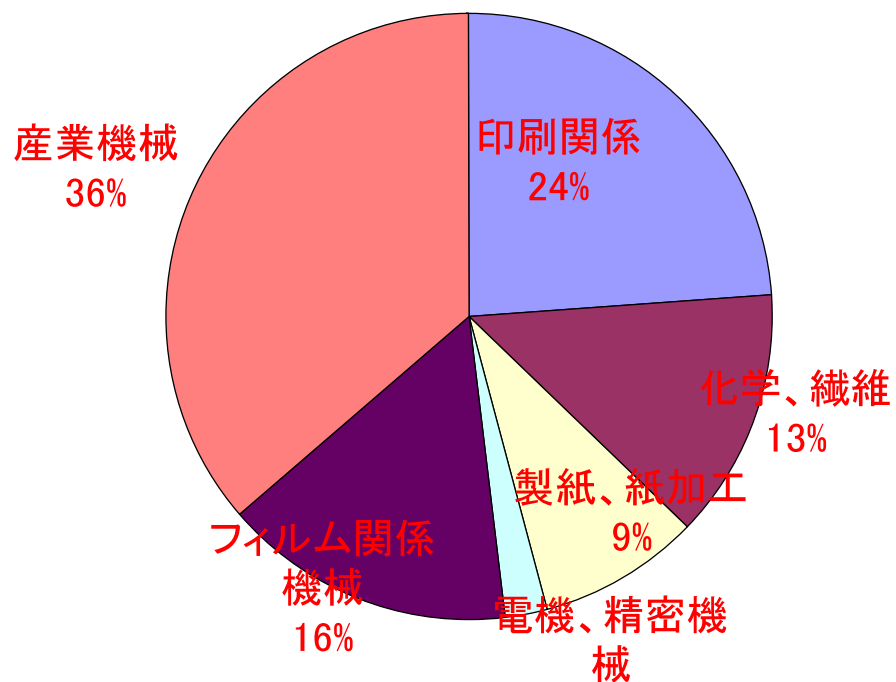
《ウェブ事業 部門別売上高推移》



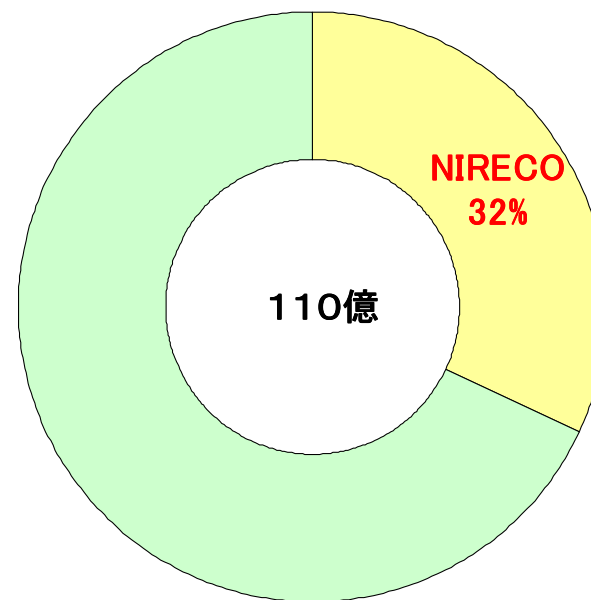
注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

ウェブ事業の概況

【ユーザー業界別の売上構成比】



【予想される国内の市場規模と当社のシェア】

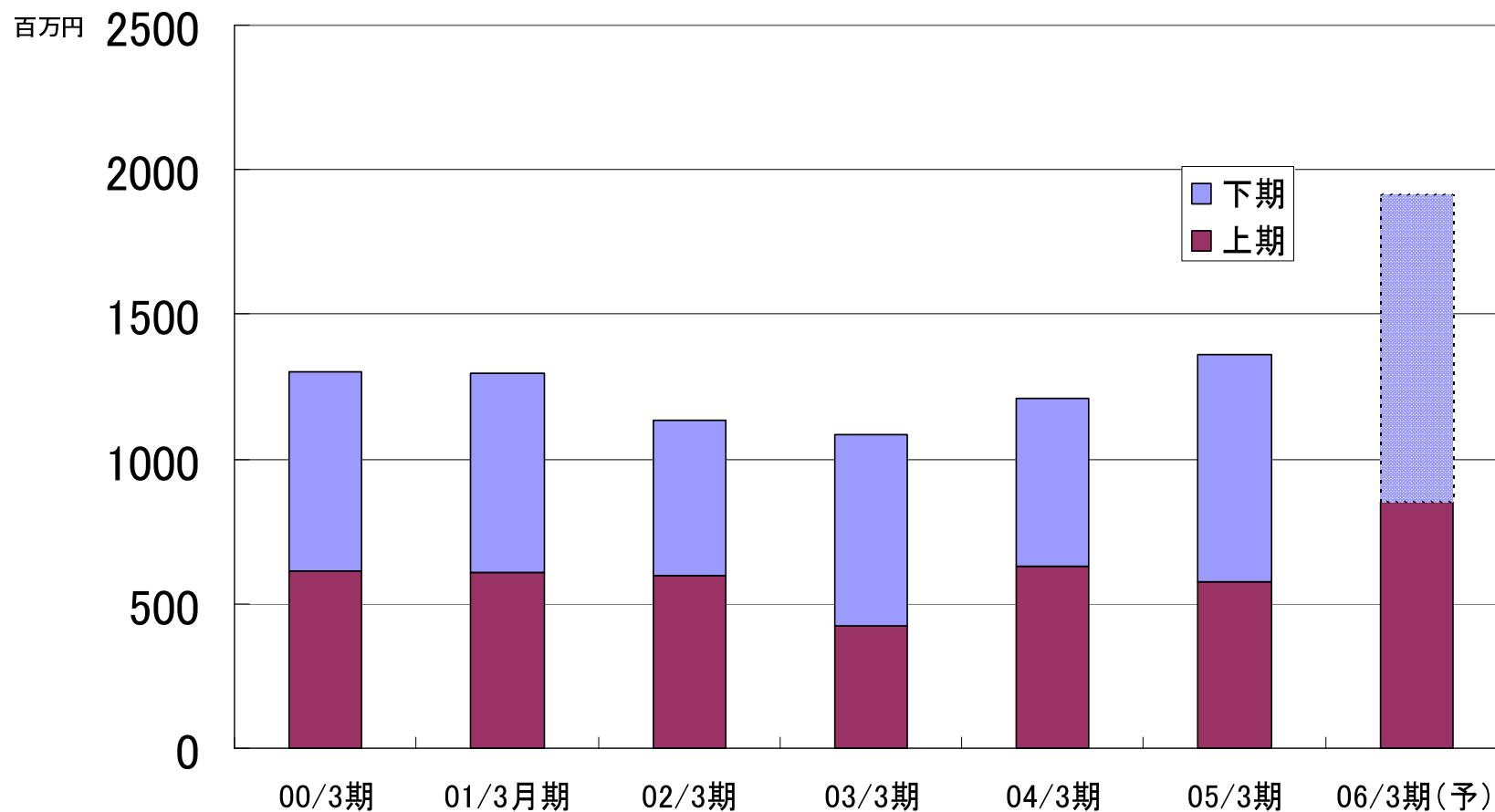


注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

検査機事業の概況

印刷、電子機器業界の設備投資増及び社内体制強化の効果により印刷品質検査装置が好調。無地検査装置が、印刷、化学、電子機器業界の新市場を開拓し、引合いが増えているが、受注は目標にもう一步。

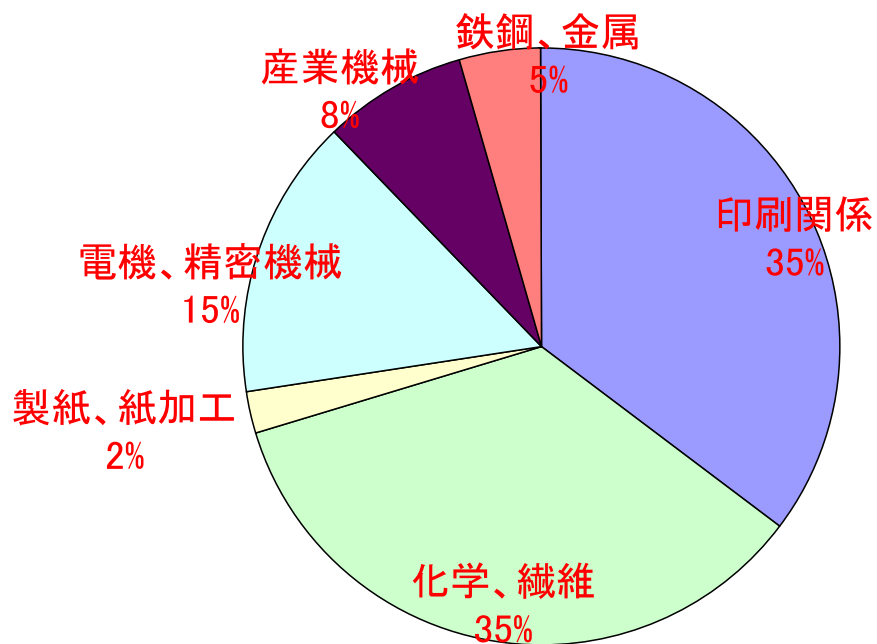
《検査機事業 部門別売上高推移》



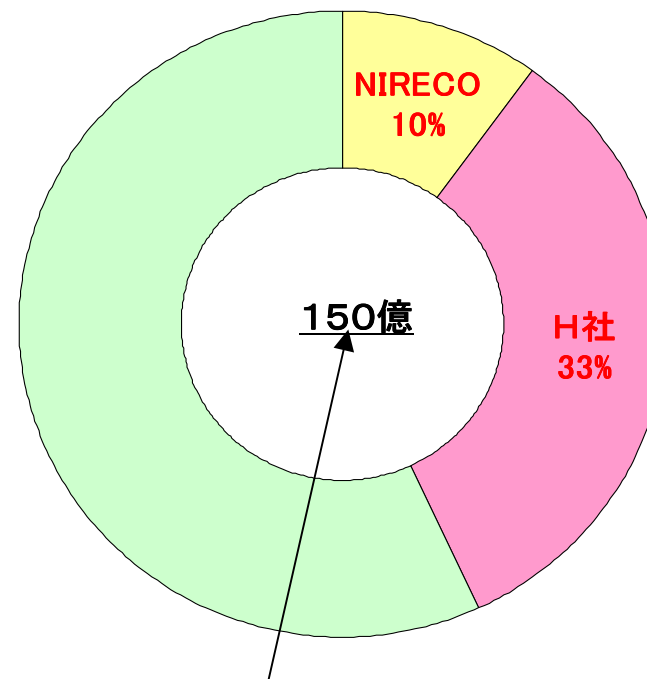
注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

検査機事業の概況

【ユーザー業界別の売上構成比】



【予想される国内の市場規模と当社のシェア】



(競合している市場に限定)

注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

増収増益の要因

■増収要因

電子部品用素材やFPD用フィルム向け制御装置が前期に比べ減速傾向にあるものの好調を維持し全体の売上を下支えし、プロセス、検査機事業の伸びにより増収となった。

プロセス事業

国内鉄鋼業界は好調な業績を背景に設備のリプレース需要が起こる。このチャンスを捉えてプロセス制御装置や自動識別印字装置が伸びた。

ウェブ事業

電子部品、FPD用高感度フィルム向け制御装置が当初の予想ほど落ち込まず、好調を維持。

検査機事業

印刷、電子機器業界の設備投資増及び社内体制強化の効果により印刷品質検査装置が好調。無地検査装置が、印刷、化学、電子機器業界の新市場を開拓し、引合いが増えている。

■増益要因

自動識別印字装置及び検査装置のコストダウンより原価率改善

主要経費の推移(1)

《販売費及び一般管理費(連結)》

	03/9期		04/9期		05/9期	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
広告宣伝費及び販売資料費	58	1.7	54	1.5	34	0.9
旅費交通費	75	2.1	76	2.1	75	1.9
人件費(給与手当・賞与)	548	15.6	573	15.8	561	14.0
その他	366	10.4	398	11.0	436	10.8
合計	1,047	29.9	1,101	30.3	1,107	27.5

主要経費の推移(2)

《設備投資・減価償却費・研究開発費(連結)》

	03/9期	04/9期	05/9期
設備投資	28	34	48
減価償却費	59	59	57
研究開発費	284	323	381
(売上比)	8.1%	8.9%	9.5%

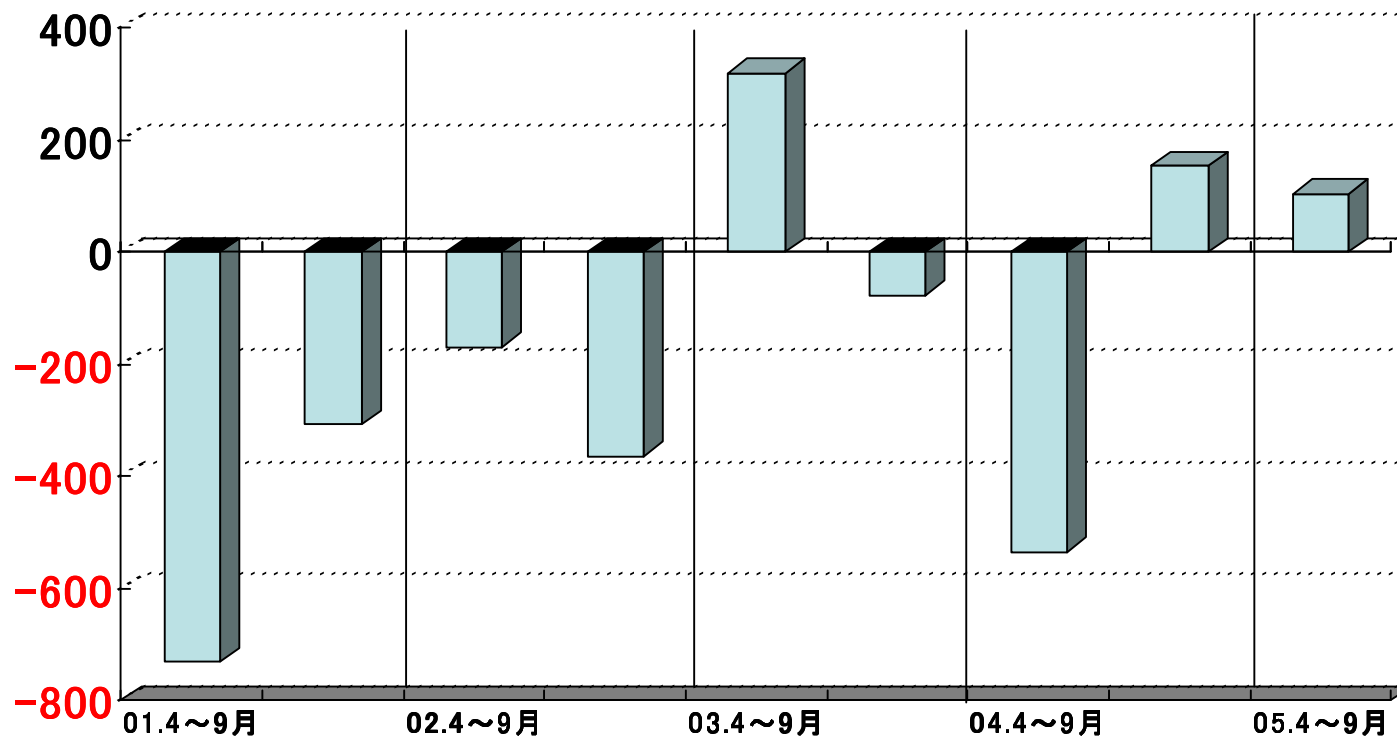
貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	当06/3中間期末		前05/3中間期末		増減	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
現金預金	2,531	17.5%	2,247	15.7%	283	営業CFの改善による
売上債権	3,604	25.0%	3,434	24.0%	170	売上高の増加に伴う
有価証券	139	1.0%	185	1.3%	△46	
棚卸資産	3,049	21.1%	3,537	24.7%	△487	在庫削減による
その他流動資産	493	3.4%	433	3.0%	60	
流動資産計	9,819	68.1%	9,838	68.6%	△18	
有形固定資産	1,588	11.0%	1,681	11.7%	△92	所有地の減損処理による
無形固定資産	49	0.3%	59	0.4%	△10	
投資その他の資産	2,972	20.6%	2,755	19.2%	216	
固定資産計	4,609	31.9%	4,495	31.4%	113	
資産合計	14,429	100.0%	14,334	100.0%	95	
買入債務	452	3.1%	499	3.5%	△47	在庫削減の一環で仕入抑制
短期借入金	1	0.0%	0	0.0%	0	
その他流動負債	606	4.2%	660	4.6%	△53	
流動負債計	1,060	7.3%	1,161	8.1%	△100	
長期借入金	4	0.0%	2	0.0%	2	
その他固定負債	387	2.7%	337	2.4%	50	
固定負債計	391	2.7%	339	2.4%	52	
負債合計	1,452	10.1%	1,500	10.5%	△48	
少数株主持分	242	1.6%	249	1.7%	△6	
資本合計	12,734	88.3%	12,584	87.8%	149	
負債、少数株主持分、資本合計	14,429	100.0%	14,334	100.0%	95	

FCFの推移

(単位：百万円)



注)フリーキャッシュフロー(FCF)＝営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

今期業績見通し

損益計算書の概要

(単位：百万円)

	当期 (06/3期)		前期 (05/3期)		増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	8,100	100.0%	7,685	100.0%	415	5.4%
営業利益	420	5.2%	280	3.6%	140	50.0%
経常利益	500	6.2%	359	4.7%	141	39.3%
当期純利益	170	2.1%	139	1.8%	31	22.3%
設備投資額	100	1.2%	101	1.3%	△1	△1.0%
設備投資額	100	1.2%	101	1.3%	1	1.0%

2006年3月期 受注及び売上の見通し

(単位：百万円)

	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	2,000	0%	2,000	7.7%	854	0%
ウェブ事業	3,500	△5.6%	3,400	△5.1%	626	19.0%
検査機事業	2,000	25.5%	1,900	39.7%	734	15.7%
その他 (近赤外分析など)	200	12.1%	200	40.0%	38	0%
合計	7,700	2.8%	7,500	7.9%	2,253	9.7%

注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

今期の事業部門別 事業戦略

事業区分	取組み施策
プロセス事業	国内の鉄鋼メーカーの設備更新及び新規ライン計画の活発化 中国、韓国、台湾の鉄鋼メーカーの設備投資は当面継続と思われるが、競争激化 主力製品の新規開発製品を投入 (2006年1月鉄鋼用EPC装置、マーキング装置) 中国での一部油圧製品の生産を本格開始(2006年2月)
ウェブ事業	電子部品、液晶用高感度フィルムは前期に比べ減速傾向にあるものの、好調は維持 前期を上回る実績は難しいが、来期以降を見据えた製品開発(CPCセンサ)
検査機事業	組織変更により無地検査装置の技術、営業要員を増強した。(売上増加計画) 新規の印刷検査装置(シール、ラベル用)を米国及び欧州市場向けに販売開始 中国上海に営業担当者を常駐(2名)

中期計画の進捗状況

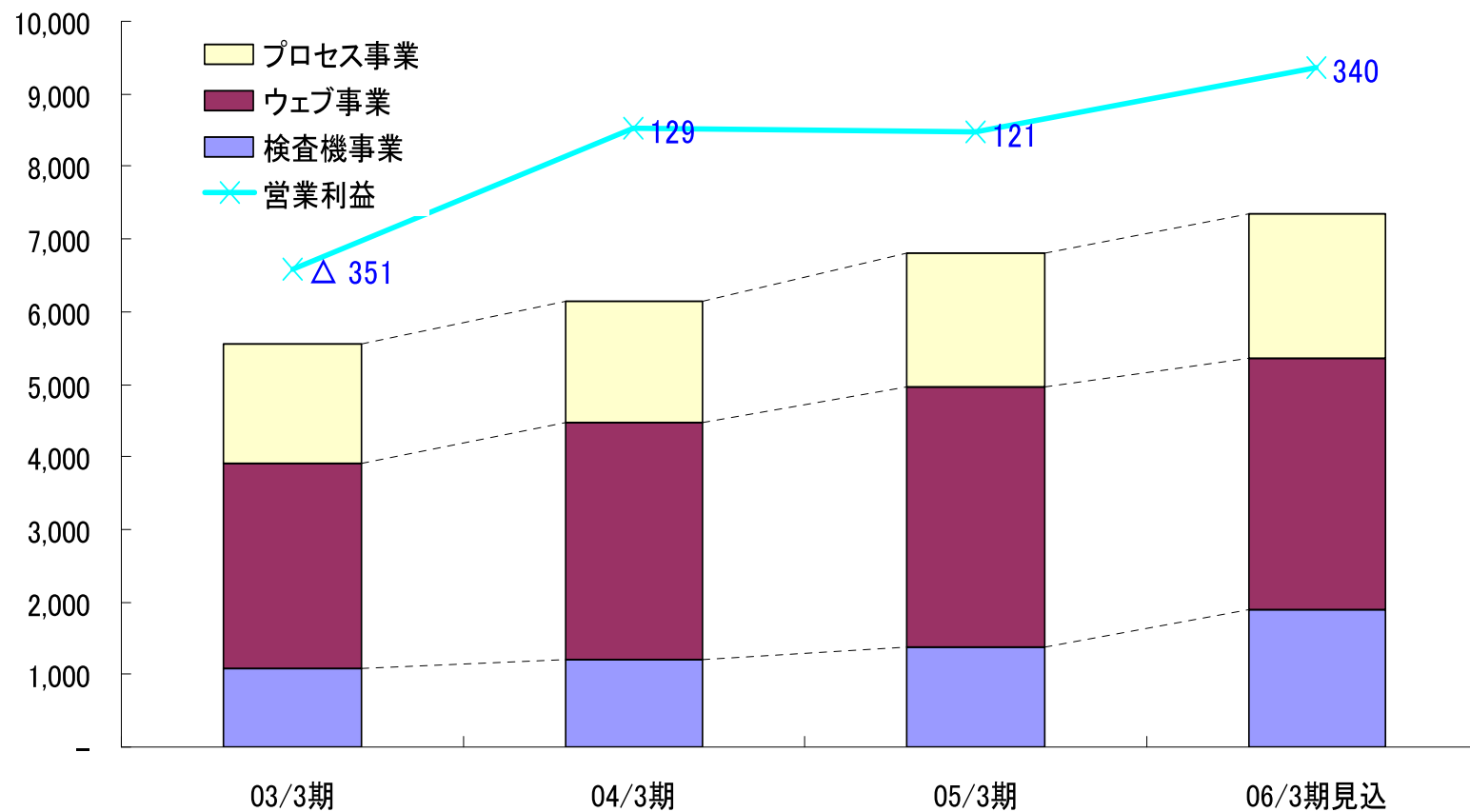
中期計画(3カ年計画)

(単位：百万円)

	04.3期 (実績)	05.3期 (実績)	06.3期 (計画)	06.3期 (見通し)
売上高	6,449	6,949	7,000	7,500
プロセス事業	1,666	1,857	1,860	2,000
ウェブ事業	3,274	3,585	3,210	3,400
検査機事業	1,262	1,360	1,730	1,900
その他	247	146	200	200
営業利益	129	121	180	320
経常利益	243	261	260	410

注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

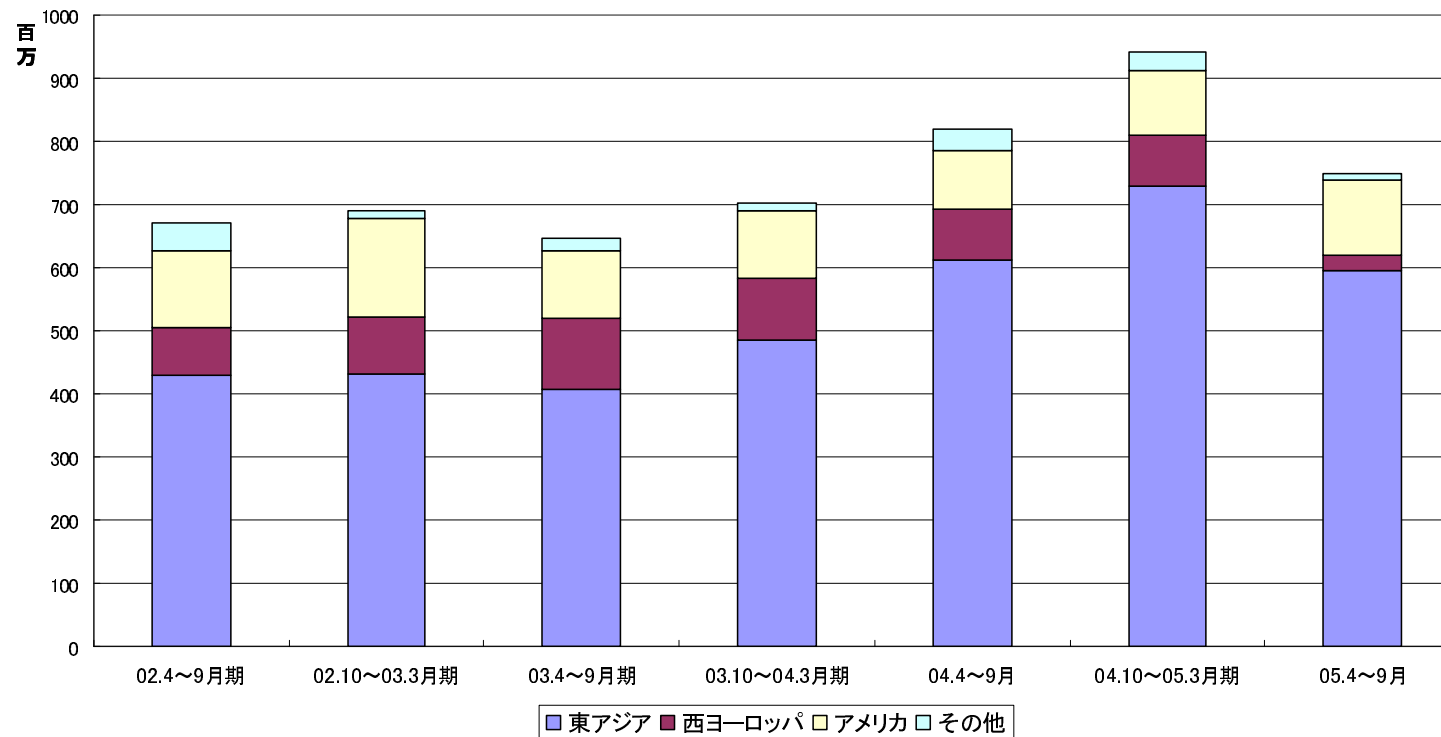
部門別売上高



注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

海外市場展開

- 海外売上高は連結売上高の18.6%
- 西ヨーロッパの落ち込み←カルグラフィ社の不振
- 中国←競合との価格競争の激化



～中国市場への取組み(第四報)～

尼利可自動制御機器(上海)有限公司

■工場の移転・拡張

加工から組立・検査までの一貫した完成品生産ラインの敷設

←機械加工設備の導入と人員の増員

	旧工場	新工場
生産工程	標準品の組立中心	加工から組立・検査までのライン
生産品	印刷業向け制御装置	制御装置及び検査装置全般
生産額(年間)	115百万円(見込み)	300百万円(3年目計画)
人員	11名	15名

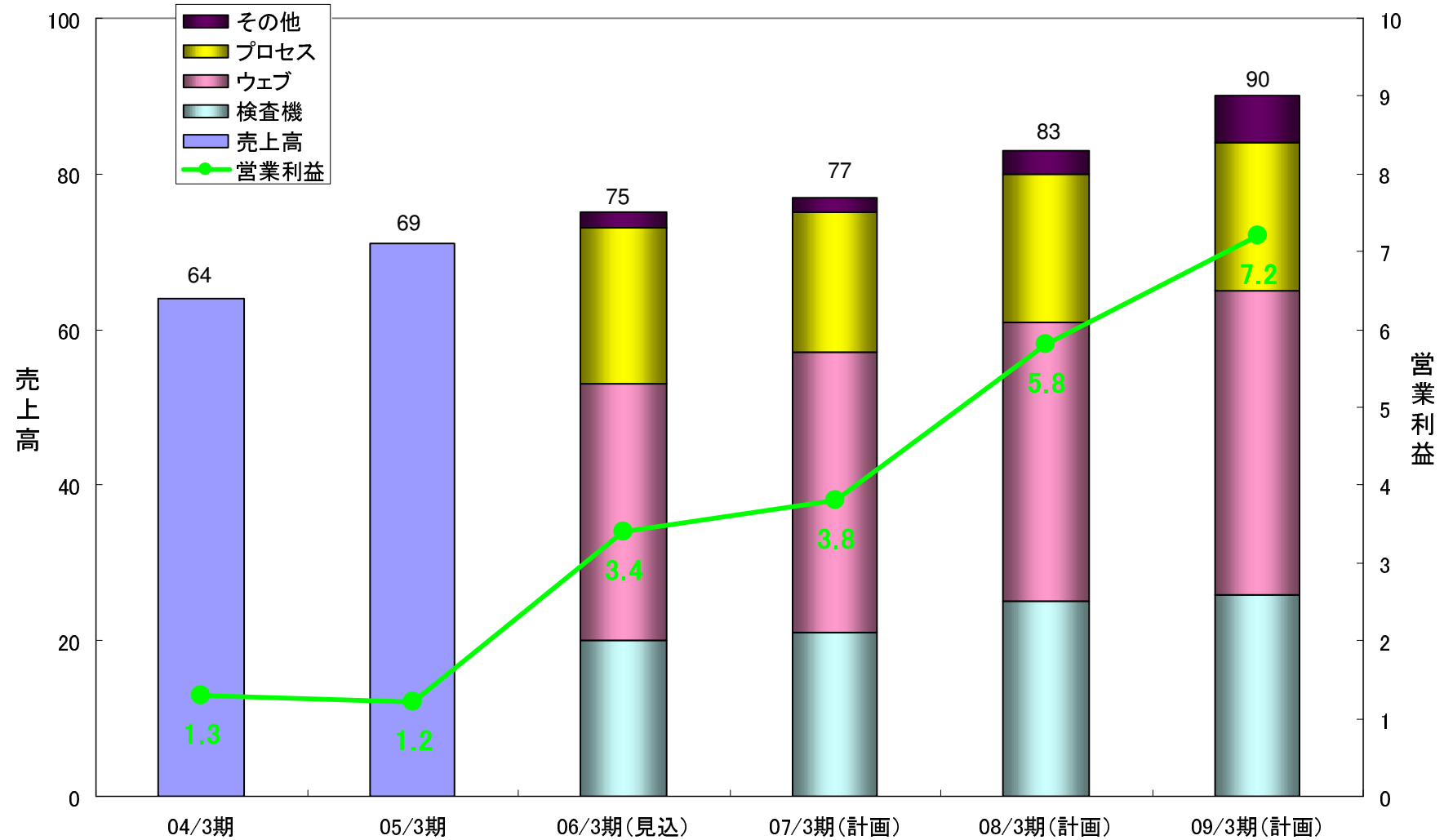
■営業担当者の駐在

営業担当者2名を駐在させ、営業所開設の準備と現地代理店の支援を行う。

中国新工場の外観



(単位:億円)



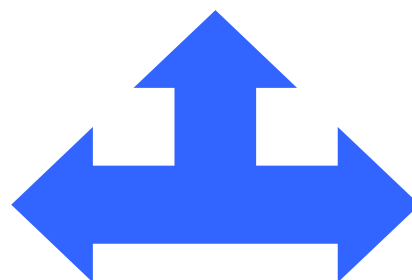
注) 株式会社ニレコ単体ベースによる

～企業価値向上に向けた施策～

グループの成長と経営の安定

安定配当を確保

配当性向35%維持を原則
今中間期は6円／株を配当予定



ストックオプション及び
自己株買いの継続

第1回ストックオプションを実施

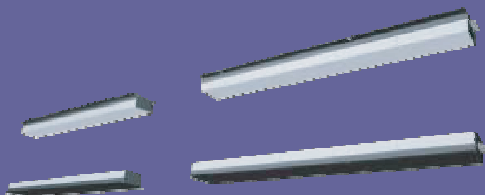
プロセス



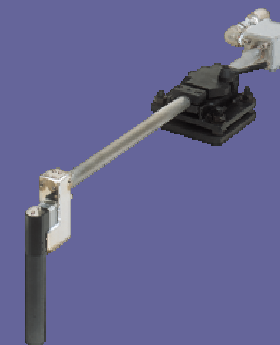
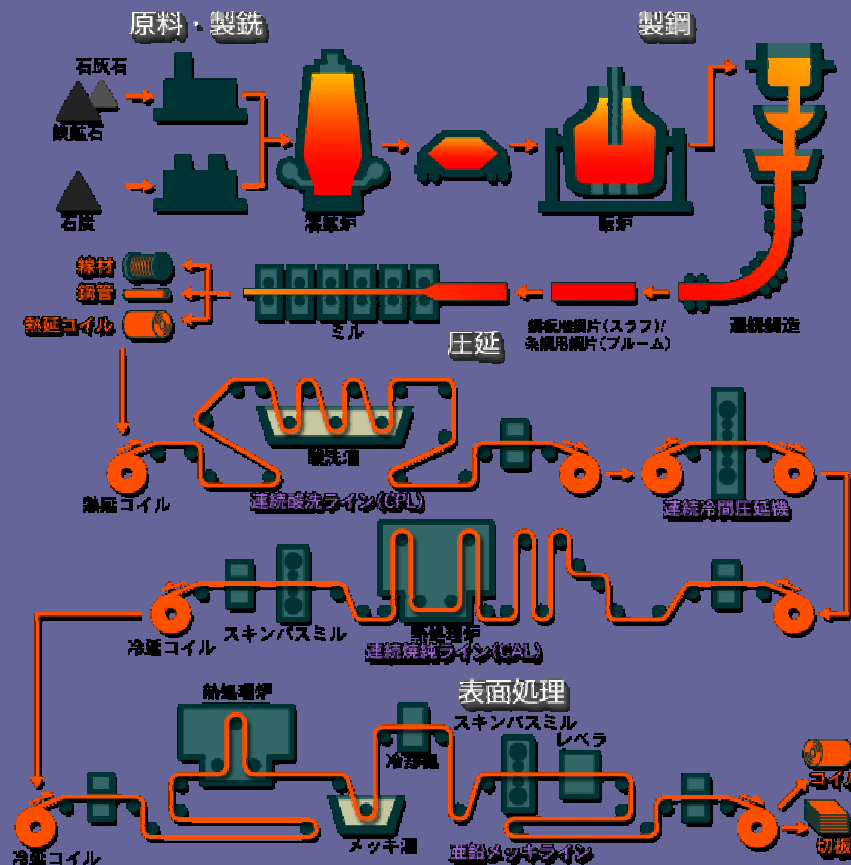
パワーガイド
(鉄鋼プラント)



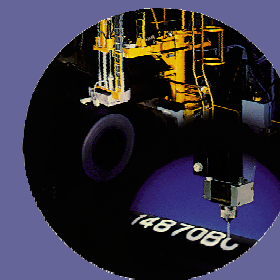
ストリップガイドアンプ



キャパシタンス
オートワイドセンサ
(CPC制御)



渦流式溶鋼レベル計
(連続鋳造ライン)



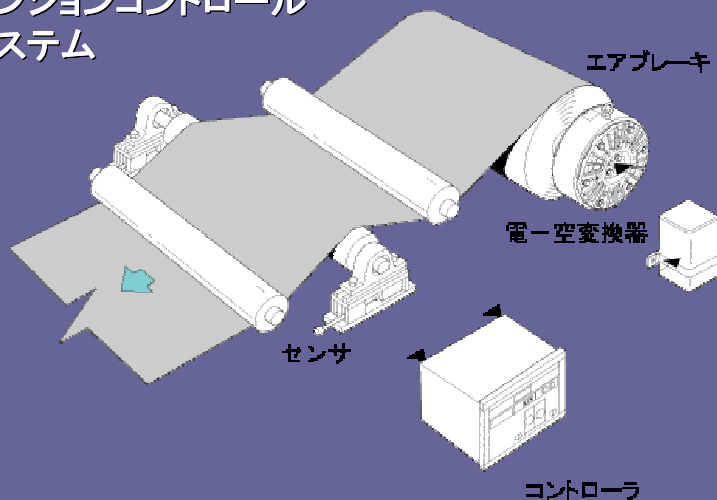
自動マーキング装置
(連続鋳造・圧延ライン)

テンション

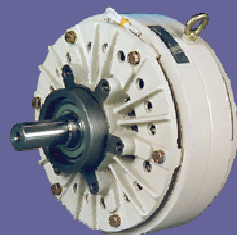
ウェブコントロール

EPC

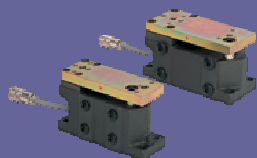
テンションコントロールシステム



テンションコントローラ

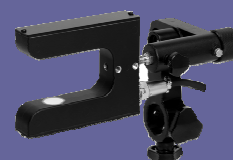
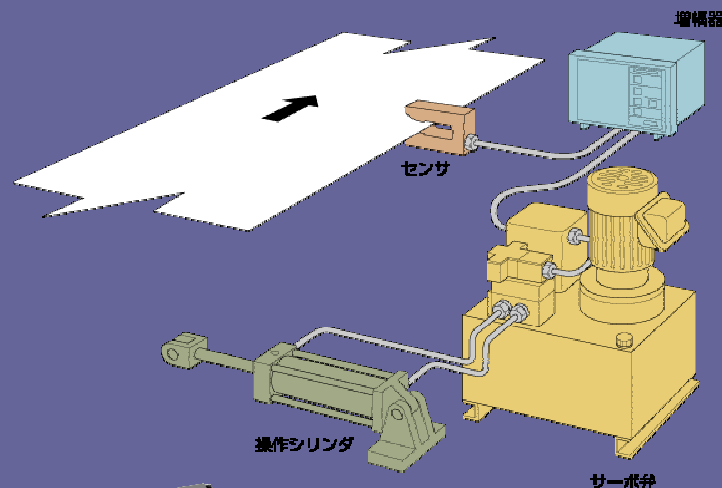


パウダブレーキ



テンションセンサ

● EPCシステム



EPCセンサ



ライトガイドコントローラ

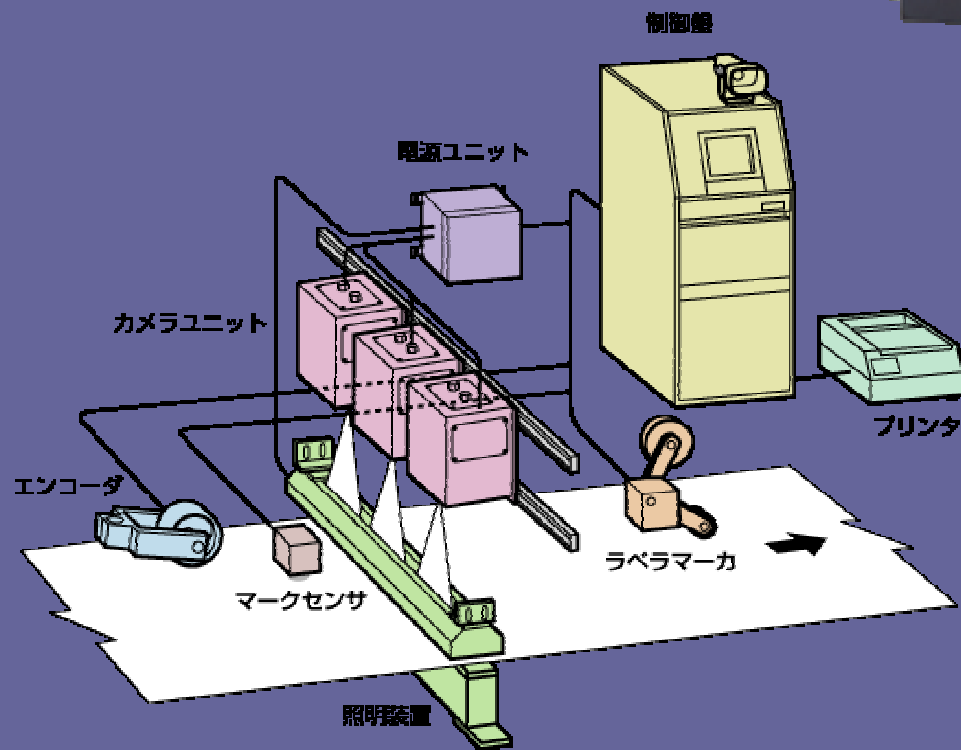


サーボガイド

検査装置

印刷品質検査装置

● BCON2000構成図



BCON2000MK-II
カメラユニット



印刷品質検査装置
BCON2000



無地表面欠陥検査装置
DIPS